

日本と中国の貨幣展開催にあたり

— 中村栄一・政子氏コレクション展 —

今年五月三〇日、わが博物館は、まことに大いなる文化遺産の一大コレクションの寄贈の栄に浴しました。それが今回、その一部の特別陳列公開になった「中村貨幣コレクション」です。その総数、実に三五四八点。太古貨幣の濫觴（らんしょう）とされる「貝貨」に始まり、今世紀の「軍用手票」に及んで、古今の数千年を網羅しています。壯観です。戦中・戦後の困難を極めた大陸での職に精励しながら、コレクター中村氏は、中国文化に受けた感動に導かれて、その後の四〇年の全生涯をこの収集に生きてこられて、この目を見はる一大偉業を達成されたのです。自分の仕事を長く後世に伝えたい、特に若い世代のために残したい。その願いからこの寄贈になり、この展示になりました。今は故人となった中村氏に感謝を捧げる記念展示といたします。

一九九八年十二月十九日

館長 高橋富雄

目次

日本と中国の貨幣展開催にあたり	
中村栄一・政子氏と古銭	1
日本の貨幣	2
中国の貨幣	8
主な展示史料	12

凡例

- 1 本書は、福島県立博物館常設展示特別陳列「日本と中国の貨幣展—中村栄一・政子氏コレクション—」（会期一九九八（平成十）年十二月十九日～一九九九（同十二）年一月十七日）の展示図録である。
- 2 掲載史料は、全て中村栄一・政子氏コレクションである。
- 3 本展示は当館学芸員酒井耕造（歴史分野）が担当した。また、本書に掲載した写真は、酒井と佐藤洋一（同右）が、藤原妃敏（考古分野）と田中敏（同上）の協力のもと撮影した。本書の作成は、酒井・佐藤・唐司浩二（歴史分野）・高橋充（同上）が行った。